

第 77 回審議会（H29.8.10）の主な意見

1. 人口等基礎資料について

- 周辺市町村へ人口が流出の理由を捉え、それらをしっかりと分析することが重要。
- 市内 13 校区が 10 年、20 年後の人口推計や具体のまちづくりを市民に示し、意見を言うていただく資料づくりが必要。何もしなければもっと人口が減るということを審議会や市民説明会でも理解していただくきっかけにしていきたい。
- 通勤・通学など、昼間の活動という視点でのデータが欲しい。

2. 整備方針の記載について

- 計画では課題、対応、効果を示すことが重要である。幹線道路整備方針では、「人と物の移動の効率化により、企業立地、観光振興、移住定住促進などを図るために、山陰自動車や北条湯原道路の整備を促進します。」など、課題と関連づけした記載が必要。
- 下水道整備方針図に方針を記入していただきたい。市街地の浸水への対応など、もう少し踏み込んで書いたほうが良い。

3. 整備方針に対する個別意見について

- 倉吉市外の人に、標識が適切なところに適切な内容で示されているのか確認し、適切に直してほしい。
- 市民と協力して、移住定住を図ることが大切であり、計画の中に入れると良い。若者の定住はこれからの倉吉を担う重要な人であり、倉吉で頑張っていくためにはどうすればよいかを考えることが重要。
- 公共交通ネットワークについて、有益に運営側も利用者側もきちんと整備されたシステムづくりが必要。バス路線の再検討も必要。

